



ライオンズクラブ国際協会331-B地区

2024-2025年度

第2回キャビネット会議 議事録



日 時：2024年11月9日(土)
場 所：ホテルベルクラシック北見
北見市北6条西1-8-1
TEL 0157-31-1200



2024-2025 ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

北見キャビネット

国際会長 L. ファブリシオ・オリベイラ

国際テーマ

【We Serve (われわれは奉仕する)】

国際会長メッセージ

【足跡をしるす】

地区ガバナー L. 伊東 隆志

地区ガバナースローガン

【明るく、楽しい、ライオンズ】

北見キャビネット シンボルマーク ◇ コンセプト



331-B地区から、小さなハーブが
芽生えました。
皆様にさわやかな風をお届けしたいと
思います。

第2回キャビネット会議出席者名簿

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
地区ガバナー 地区LCIFコーディネーター	L. 伊東 隆志	○	第1R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 佐々木 良吉	○	長期計画リサーチ委員	L. 中野 修吾	×
			第1R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 足立 計昌	○	長期計画リサーチ委員	L. 木村 宏幸	○
第一副地区ガバナー 地区LCIF 副コーディネーター 長期計画リサーチ副委員長 OSEALフォーラム運営 特別委員会委員長	L. 大島 尚久	○	第2R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 高橋 昭典	○	長期計画リサーチ委員	L. 佐藤 健治	○
			第2R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 菅野 みち道	○	運営委員長(副幹事)	L. 田尾 忠正	○
第二副地区ガバナー 地区GLTコーディネーター 長期計画リサーチ副委員長 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会委員長	L. 広瀬 寛人	○	第3R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 豊田 典正	○	運営副委員長(副幹事)	L. 辻 太郎	○
			第3R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 太田 好啓	○	運営副委員長(副幹事)	L. 爰田 壽一	○
前地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員長	L. 藤原 回向	○	第4R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 柳澤 豊	○	運営副委員長(副幹事)	L. 松田 佳陽	○
地区名誉顧問会議長 長期計画リサーチ委員	L. 中谷 宣巨	○	第4R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 明石 欽弥	○	運営委員(副幹事)	L. 鳥越 孝枝	○
			第4R第3Z ゾーン・チェアパーソン	L. 藤田 隆明	×	運営委員(副幹事)	L. 寺中 賢武	○
			第5R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 脇坂 敏夫	○	運営委員(副幹事)	L. 大原 崇義	○
			第5R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 松平 範慶	○			
			第5R地区 マーケティング・YCE委員			第1R地区マーケティング・YCE委員 第1R第1Zゾーン委員	L. 綿貫 裕介	×
			地区大会委員長	L. 岩崎 雅人	○	第2R地区 マーケティング・YCE委員	L. 貝谷 義直	○
			地区大会副委員長	L. 永田 裕一	×	第3R地区 マーケティング・YCE委員	L. 磯部 正博	○
キャビネット幹事(全般) 長期計画リサーチ委員	L. 二宮 雄一	○	会則 コンプライアンス 委員長	L. 白川 利幸	×	第4R地区マーケティング・YCE委員 第4R第3Zゾーン委員	L. 山本 秀一	○
キャビネット会計(広報)	L. 山田 兼士	○	会則 コンプライアンス 副委員長	L. 山本 一男	×			
キャビネット副会計(財務) マーケティング・IT委員長	L. 伊藤 慎司	○	会則 コンプライアンス 副委員長	L. 高橋 哲也	○			
地区GMT コーディネーター	L. 矢吹 定夫	×	国際大会・国際協調 委員長	L. 岡村 康明	○	第1R第2Z ゾーン委員	L. 川目 撰	○
地区GST コーディネーター	L. 喜多 武彦	○	国際大会・国際協調 副委員長	L. 小田 大典	○	第2R第2Z ゾーン委員	L. 西脇 務	○
地区SCP・FWT コーディネーター	L. 大津 幸三	○	薬物乱用防止・献血献眼 委員長	L. 山中 大輔	×	第3R第1Z ゾーン委員	L. 石邑 義幸	○
地区GET コーディネーター	L. 村山 聡	○	薬物乱用防止・献血献眼 副委員長	L. 小滝 愛子	○	第4R第1Z ゾーン委員	L. 小路 泰孝	○
地区GLT 副コーディネーター	L. 坂本 ひとし	○	レオ・青少年育成 アラート YCE委員長	L. 浅野 敬一	○	第4R第2Z ゾーン委員	L. 阿部 潤司	×
地区GMT 副コーディネーター	L. 大和田 収	○	レオ・青少年育成 アラート YCE副委員長	L. 佐藤 豪一	○	第5R第1Z ゾーン委員	L. 寺田 忠弘	○
地区GST 副コーディネーター	L. 佐藤 正明	○	レオ・青少年育成 アラート YCE副委員長 第3R第2Zゾーン委員	L. 清野 芳明	×	第5R第2Z ゾーン委員	L. 野口 智史	○
地区SCP・FWT 副コーディネーター	L. 木下 裕幸	○	レオ・青少年育成 アラート YCE副委員長	L. 小野寺 一史	○			
地区GET 副コーディネーター	L. 松下 賢二	○	マーケティング・IT 副委員長	L. 板垣 浩	○			
			平和ポスターコンテスト 委員長	L. 折笠 充	○			
			平和ポスターコンテスト 副委員長	L. 上野 恭裕	○			
						事務局長	遠藤めぐみ	○
						事務局員	工藤かずみ	○

16

21

20

出席者

57

名

第2回キャビネット会議次第

	司会;運営副委員長	L.	まつだ	よしあき	
			松田	佳陽	
1	開会宣言並びに開会ゴング	地区ガバナー	L.	いとう	たかし
			伊東	隆志	
2	出席者の紹介	運営副委員長	L.	まつだ	よしあき
			松田	佳陽	
3	物故会員への黙祷	運営委員長	L.	たのお	ただまさ
			田尾	忠正	4頁
4	地区ガバナー挨拶	地区ガバナー	L.	いとう	たかし
			伊東	隆志	
5	副地区ガバナー挨拶	第一副地区ガバナー	L.	おおしま	なおひさ
		第二副地区ガバナー	L.	ひろせ	ひろと
			広瀬	寛人	
6	キャビネット報告				
	報告第1号 : 複合地区各種会議	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち
				二宮	雄一
	報告第2号 : リジョン・ゾーン経費の算定基準について	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち
				二宮	雄一
	報告第3号 : 前年度会計決算報告について	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち
				二宮	雄一
	報告第4号 : 会員並びにクラブ活動状況報告 集計表	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち
				二宮	雄一
7	審議事項				
	議長就任	地区ガバナー	L.	いとう	たかし
				伊東	隆志
	議案第1号 : 第71回地区年次大会要綱(案)	地区大会委員会委員長	L.	いわさき	まさひと
				岩崎	雅人
	議案第2号 : 第71回地区年次大会取引金融機関(案)	地区大会委員会委員長	L.	いわさき	まさひと
				岩崎	雅人
	議案第3号 : 第71回地区年次大会議事規則(案)	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち
				二宮	雄一
	議案第4号 : 次期地区役員・委員推薦要項(案)について	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち
				二宮	雄一
	議案第5号 : 次期地区ガバナー立候補者届出について	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち
				二宮	雄一
	議案第6号 : 次期第一副地区ガバナー立候補者届出について	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち
				二宮	雄一
	議案第7号 : 次期第二副地区ガバナー立候補者届出について	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち
				二宮	雄一
	提出議案 : 地区内クラブより提出議案	CAB幹事	L.	にのみや	ゆういち
				二宮	雄一
8	地区LCIFコーディネーター報告		L.	いとう	たかし
				伊東	隆志
9	地区GLTコーディネーター報告		L.	ひろせ	ひろと
				広瀬	寛人
10	地区GMTコーディネーター報告		L.	やぶき	さだお
				矢吹	定夫
11	地区GSTコーディネーター報告		L.	き	たけひこ
				喜多	武彦
12	地区スペシャルティクラブFWTコーディネーター報告		L.	おおつ	こうぞう
				大津	幸三
13	地区GETコーディネーター報告		L.	むら	あきら
				村山	聡
14	各委員会報告				
	長期計画リサーチ委員会	委員長	L.	ふじわら	えこう
				藤原	回向
	地区大会委員会	委員長	L.	いわさき	まさひと
				岩崎	雅人
	会則委員会/コンプライアンス委員会	委員長	L.	しらかわ	としゆき
				白川	利幸
	国際大会・国際協調委員会	委員長	L.	おかむら	きよあき
				岡村	廉明
	薬物乱用防止・献血献眼委員会	委員長	L.	やまなか	だいまけ
				山中	大輔
	レオ・青少年育成委員会/アラート委員会/YCE委員会	委員長	L.	あさの	けいち
				浅野	敬一
	マーケティング・IT委員会	委員長	L.	いとう	しんじ
				伊藤	慎司
	平和ポスターコンテスト委員会	委員長	L.	おりかま	みつる
				折笠	充
15	質疑及びその他				
	参考資料 : 2024-2025地区及びクラブシェアリング交付金申請可能額 新規付与額及び累計額				154頁
16	OSEALフォーラムについて	OSEALフォーラム運営特別委員長	L.	おおしま	なおひさ
				大島	尚久
17	GLTセミナー	GLTコーディネーター	L.	ひろせ	ひろと
				広瀬	寛人
18	公益財団法人 日本ライオンズ 活動報告	公益財団法人日本ライオンズ特別委員長	L.	ひろせ	ひろと
				広瀬	寛人
19	閉会宣言並びに閉会ゴング	地区ガバナー	L.	いとう	たかし
				伊東	隆志

第2回キャビネット会議 議事録

日時 2024年11月9日(土)15:00~17:30

会場 ベルクラシック北見

司会 キャビネット運営副委員長 L.松田 佳陽

- | | | |
|-----------------|--------|---------|
| 1. 開会宣言並びに開会ゴング | 地区ガバナー | L.伊東 隆志 |
| 2. 出席者の紹介 | 運営副委員長 | L.松田 佳陽 |
| 3. 物故者への黙祷 | 運営委員長 | L.田尾 忠正 |
| 4. 地区ガバナー挨拶 | 地区ガバナー | L.伊東 隆志 |

皆様こんにちは。今日は第2回キャビネット会議でございまして、このキャビネットを支えていただける皆様にご参加いただきまして誠にありがとうございます。北見地方、ちょっと雪が降りましてですね、実は交通の便をちょっと心配しておりました。皆さんご安全にお集まりいただけましたでしょうか。ちょっと心配しておりました。今日はですね、あまり嬉しくないお話から皆さんにお伝えしようと思えます。ここで地区ガバナーの挨拶ということですがけれども、今のこのキャビネットの状況を皆さんに報告を兼ねてお話ししたいと思えます。まず第3リジョン第2ゾーンなんですけれども、太田ゾーンチェアパーソンの方からご報告を頂いております。解散クラブが出ました。十勝清水ライオンズクラブなんですけれども、3月末で解散をするというご報告を頂いております。27名の、26名ですか、会員がございまして、これが一気に減るということで、すごい僕としては痛手なんですけれども、これ、各クラブの意思で動いているものでございまして、僕らがとやかく言う話ではございませぬので、そういう意思を持っているクラブがあるということは、やっぱり尊重してまいりたいなというふうに思っております。ただし、中にはライオンズ活動を続けていきたいんだとおっしゃる方もいらっしゃるでしょうから、例えば他のクラブに転籍するですとか、そういう方が5人以上いらっしゃったら支部クラブを作ることができます。どこかのクラブの支部になるだとか、そういう形を模索してまいりたいなというふうに存じ上げておりますので、どうぞ皆様のご協力をよろしくお願ひしたいと思えます。次に、能登の災害についてお話ししたいと思えます。パソコンを用意しますので、ちょっとお待ちください。能登の災害については、私は各クラブに対して文書を差し上げております。内容については、重要な点だけお話ししますと、物資の支援は当面の間行わないでくださいというお願ひです。それから、資金の援助は、LCIFに対して1人当たり2千円の指定寄付をお願いしたいということでございまして。それから3番目、キャビネットで管理している緊急援助資金は使わず、支援の対応は各クラブでというお願ひでございました。これについて、物資の支援は当面の間行わないということについては、334-D地区、杉木ガバナーから文書を頂いております。内容はですね、物資については当面の目処が立つ

ておりますことから必要ありませんという内容でございました。これ、裏の話をちょっと申し上げますとですね、この地域の、福祉協議会の方に支援物資を集める建屋がありまして、そこに集めている状況なんですけれども、それがすごい量が集まって整理がつかないという状況だそうです。それから最初の頃はタオルを送ってくれと言いましたら、すごい量が集まったんですけれども、ちょっと使えないような布切れが大量に送られてきたりとかですね、そこら辺の整理もしなきゃならないというお話でございまして、今とりあえず物資の面は落ち着いておりますので、目処が立っておりますので、送って頂かなくて結構ですという文章を載いております。それから2番目のLCIFに対して2千円の寄付をお願いしたいということなんですが、これについてはLCIFからいろんな文章がまいておりました。このような文章なんですけれども、LCIF理事長の方から、一人2千円の援助をお願いしたいと、ご支援をお願いしたいと、これは山田實紘理事、それから鶴嶋浩二理事、会則リーダーの鈴木誓男さんですね、こちらの方から連名で出ているものでございます。こういうものが出ているということ、それから、何故LCIFなのかと申しますとですね、これ、ネットから拾うこともできます。後で拾い方をお知らせしたいなというふうに思うんですけれどもね、これは地震のときのもので、その報告が10月20日に上がってきております。LCIFからの報告でございまして。そこにですね、ちょっとこの部分を見ていただきたいなと思うんですけれども、LCIFからは、要請をいただいてLCIFから出している仕組みになってまして、そこでどういうことに使うのかチェックされて、それで支給するという仕組みになっているんですね。それから支給したのも支給しっぱなしじゃなくて、あとで領収書だとか、確認しています。これ、斜線になっている部分がありますよね。これレンタル、例えばレンタル入浴車のレンタル料、これ斜線があって取り消されてますよね。やっぱりちょっとそぐわないだとかいうことはこうやって援助しないというような決定がされたんだと思います。これは3月ぐらいまですと、それから3月から下の方で黄色いところは10月からまたずっと増えてるんですけども、これは洪水の災害、豪雨の災害にも支給になっています。このように使い道がはっきりしてそこに使われる。それから領収書等も確認されているということで、僕は非常に安全性が高いというふうに判断いたしました。そこで、このLCIFを通じて、皆さん指定の寄付をお願いしたいという文書を配布したのでございます。この災害指定寄付になりますと、LCIFではMJFの累積だとか、そういうアワードにつながることもあるんですけれども、この災害指定寄付とすると、MJFとは関係なくなりまして、このアワードの対象にはならないということだけをお含みおきいただきたいと思っております。それから、緊急援助資金をなぜ使わなかったのかと申しますと、まず最初はタオルを送ってくれ、水を送ってくれから始まったんですけど、もう1週間も経たないうちにどんどん変わっていったということがございました。それでお金についても本当に急に、もう今これこれ買いたいからすぐ送ってくれというような要請の仕方ではなかったんです。そういう要請の仕方をされたわけではなかったんです。それで緊急性は少ないんだなと私は判断いたしました。緊急援助資金を使うというのは、ゾーンチェアパーソンの同意がございましたらすぐキャビネットから出せると非常に素早く出すことができます。そこまで素早さが必要だったかと申しますと、そうでもなかったというふうに、私は少なくともそう感じました。緊急性よりも、いまだにその孤立状態から抜け出せないような町があったりする状況で、これからも長い支援が必要であろうということで、緊急性よりも継続性と

申しますか、これからもずっと長くお付き合いしていかなければならないものだというふうに感じましたので、急がなくてもいい、ただ、皆さんの協力を得たい、そういう形でございますので、この緊急援助資金を使わず、各クラブの対応をお願いしたというところがございます。それから、能登の話は以上にしまして、各クラブをお願いしたのが、中古眼鏡のお願いをしております。ある地域で中古眼鏡を集めているところがございます。そこは中古眼鏡を集めて度数を測ったり、壊れているところをちょっと直したり、そして使えるようにして世界中に送っていると。主に東南アジアが多いんですけれども、そちらに送っているという事業をしております。その外注として修理をしたり度数を測ったりするときに就労支援機関、そこの力を借りているんですね。年間3万個の眼鏡を検査したり直したりすることが出来る体制ができたというお話を伺っておりますのでそちらの支援を僕らもしていきたいというふうに思いまして、ちょうどガバナーから文書が来ましたので皆さんに配布したというところがございます。その際に中古メガネを送る際に検査したり修理するのに一個あたり50円の支援金の送金をお願いしたいということも付け加えて流したところがございます。中古メガネの話は以上でございます。それからLCIFのお話をちょっとさせていただきますと、私はゼロドルクラブ、寄付がゼロのクラブですね、これをなくしたいというお話をさせていただきました。その形としてですね、年が明けましたらボウリング大会を開催しようというところまでできました。開催要領についてはこれから皆さんにお知らせいたします。形としてですね、1人2千円をLCIFの方に寄付をお願いしたい。それで、全道のボウリング参加者でランキングといいますかね、順位をつけてという仕組みを取りたいなと思っております。この開催要領については、後日配布致しますけれども、内容としては、一人2千円の寄付をお願いして、それでボウリング大会を開催していただく。それで、A地区は2月1日に札幌市でやるんだそうですよ。これ大々的にやるんだそうですけれども、このB地区はなかなかそういうわけに一箇所に集まってということできません。この冬の期間、特に危険ですから、そういうことできませんのでやりません。各主要都市のボウリング場にそれぞれ集まって頂いて、大会をして頂くと。参加者は2千円の寄付をお願いする、そして、そこのスコア表をですね、僕の方に送って頂きたいんですよ。それで、それをもって全道の順位付けをしていくと。そういう形を取りたいなと考えております。詳細については後日お知らせ致しますので、もう少しお待ち頂きたいと思っております。それから、このキャビネットの目玉となる事業を今進めているところがございますが、これは何かと申しますとですね、市との災害協定、これを結んでいくという作業を今始めたところがございます。ちょっとご覧頂きたいと思っておりますけれども、これ、網走市と網走ライオンズクラブの災害時におけるボランティア支援に関する協定書でございます。これ、網走ライオンズクラブが寺中会長の時に、網走市と協定を結んだものでございます。これを、この北見キャビネットでは、北見市、網走市、紋別市とこのような形で結んでまいりたいというふうに考えております。そこでゾーンチェアパーソンの皆さんにお願ひがあるんですが、とりあえず、網走桂クラブ、それから紋別オホーツクライオンズクラブがそれぞれ網走市、紋別市と協定を結ぶようにしてまいりますので、その援助をお願いしたいと思っております。それから、北見市に関しては、北見4クラブ。これの会長さんとですね、北見市が締結するような仕組みを持っていきたいと思っております。北見キャビネットの力はここまででございますが、実は、これ、道東6市で防災協定というのが結ばれているんです

よね。北見、網走、紋別はもちろん入っているんですけども、このほかにですね、根室、帯広、釧路が入っております。この6市で、例えばどこかの市が災害を受けたとなったら、他の市が手伝うという、災害が起きたときに手伝うという、支援するという仕組みが6市の間でできているんですね。この仕組みをライオンズもお手伝いできるような体制にしたい。この北見キャビネットはそこまではちょっと無理かなと思いますのでこの続きは大島一副にお願いしたいなというふうに思っているんですけども、とりあえず僕の段階では、網走、北見、紋別で、3市で防災協定を結んでいく。そこまで持っていきたいなというふうに思っております。もし質問だとか、もっとこういうやり方があるよだとかございましたら、後程お知らせ願えたら幸いです。私のご挨拶とかえさせていただきます。ありがとうございました。

5-1 第一副地区ガバナー挨拶

第一副地区ガバナー L.大島 尚久

皆さんこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました大島でございます。第2回のキャビネット会議ということで、第3回はZOOM、第4回は4月5日ということで、半年間皆様の顔をじっくりと拝むことができないということでございますので、今日はせつかくのこの現地でのキャビネット会議でございます。半年間分のお話やいろんな相談、そういったものを、この会議、それから会議の終わった後の懇親会、たつぷりとキャビネット会議の時間もありますし、それから懇親会も用意されているということでございますので、できるだけですね。濃密な時間を過ごして頂くようお願いしたいなというふうに思います。私からは後でオセアルフォーラムの時間を頂いておりますので、そのときにまたオセアルフォーラムのお話をさせて頂きたいなというふうに思いますが、先ほどLCIFのお話がガバナーから出ました。すごくいいアイデアだと思います。明るく楽しくLCIFができるということでございますし、ガバナーの方針であるゼロクラブをなくすというのには、このボウリングで2千円をお支払い頂いて楽しくゲームをして、交流をして、そしてゼロクラブをなくすということでございますので、振るってですね、各地にはないかもしれませんが、近くのボウリング場でボウリングをして、LCIFをして頂ければというふうに思います。あとでまた時間を頂きますので、またその時にお話したいと思います。本日のお集まり、誠にありがとうございました。

5-2 第二副地区ガバナー挨拶

第二副地区ガバナー L.広瀬 寛人

皆様こんにちは。本日のキャビネット会議、最後の一番お疲れのところの17、18番目のメニューで、会員専用のポータルサイトのことの説明、それから公益財団法人日本ライオンズの説明ということで、2つの部分で脂っこい話を後ほどさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。以上です。

6. キャビネット報告

キャビネット幹事 L. 二宮 雄一

- 報告第1号：複合地区各種会議
- 報告第2号：リジョン・ゾーン経費の算定基準について
- 報告第3号：前年度会計決算報告について
- 報告第4号：会員並びにクラブ活動状況報告 集計表

7. 審議事項

議長就任 地区ガバナー L. 伊東 隆志

——ライオンズ必携にて、既定の通りこれより先は地区ガバナーが議長を務める——

議長 地区ガバナー L. 伊東 隆志

議長は定刻になり出席状況を確認、定足数をみたしており本会議は成立した旨を述べ開会を宣言した。

議案第1号：第71回地区年次大会要綱（案）

地区大会委員長 L. 岩崎 雅人

議案第2号：第71回地区年次大会取引金融機関（案）

地区大会委員長 L. 岩崎 雅人

質問意見無し 議案第1号・2号を全員拍手にて承認

議案第3号：第71回地区年次大会議事規則（案）

キャビネット幹事 L. 二宮 雄一

質問意見無し 議案第3号を全員拍手にて承認

議案第4号：次期地区役員・委員推薦要項（案）について

キャビネット幹事 L. 二宮 雄一

議案第5号：次期地区ガバナー立候補者届出について

キャビネット幹事 L. 二宮 雄一

議案第6号：次期第一副地区ガバナー立候補者届出について

キャビネット幹事 L. 二宮 雄一

議案第7号：次期第二副地区ガバナー立候補者届出について

キャビネット幹事 L. 二宮 雄一

質問意見無し 議案第4～7号を全員拍手にて承認

提出議案

キャビネット幹事 L. 二宮 雄一

第2回キャビネット会議提出議案はありません。以上です。

以上審議を終わります。

伊東ガバナー 議長解任

各コーディネーター報告

8. 地区 LCIF コーディネーター

地区ガバナー

L. 伊東 隆志

着座のまま説明させていただきます。132 ページを開けてください。9 月の段階の LCIF の献金実施状況一覧となっております。合計で累計 1 万 5,077 ドルが献金されております。これは目標額が 15 万ドルでございますので 10% という形で、実はこれ、他の地区から比べるとずいぶん少ないということで、結構会議に出るとつらい思いをしているような実情でございます。内情をお察しくください。私のキャビネットというのは、楽しいライオンズということで進めておりますので、それからゼロドルクラブをなくすという目標を掲げさせていただいております。そこで、明るく楽しく献金していただく方法を考えまして、ボウリング大会を開催していこうというふうに考えておりますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

9. 地区 GLT コーディネーター

第二副地区ガバナー

L. 広瀬 寛人

第 1 回のキャビネット会議のときに、私の方からお願いをしましたライオン誌の一番後ろのページのこの登録の方、いろんなところでですね、ずいぶん登録をいただいております。ありがとうございます。昨日は新しい配信があったときに、新入会員のセミナーの部分がきちんと載っているよということで、案内があったと思いますので、通知のあった方はぜひ見開きをお願いいたします。それとともに、第 1 回目のキャビネット会議で、笈田運営副委員長の方から頂いた新入会員に対するセミナーのですね、網走の方で使われた素晴らしい資料、これを PDF で各クラブの事務局の方に配信をさせていただきました。ぜひこれもご活用頂きたいというふうに思います。あと、この後ですね、先ほど私がお話しさせていただいた、17 番目の GLT セミナーのところで、ライオンポータルというところのサイトから、いろんなクラブの会長さん、幹事さん、会計さん、いろんなポジションの方が勉強できるプログラムが、全て整っております。そのアクセスの仕方について後ほど説明をさせていただきますので、ぜひご理解いただいて、一度ライオンポータルの登録をお願いしたいというふうに思います。私の方からはですね、MD331、いわゆる ABC 合同で 12 月 16 日ですね、会場は札幌になりますが、いわゆるゾーンチェアパーソン、ゾーンチェアパーソン候補、クラブ会長等の候補のレベルの方々に対する研修会が開催されるということで、皆様にご案内をさせていただきます。12 月 16 日月曜日だったと思いますが、これもキャビネットの事務局の方から各クラブの方に全て案内がメールで行ったと思います。ぜひふるって参加を頂きたいと思います。朝 9 時から午前中は、いわゆる会長、ゾーンチェアパー

ソン候補、ゾーンチェアパーソン、こういった方々へのレベルの研修、そして午後からは公認ガイディングライオンということで研修が行われます。もうすでに公認ガイディングライオンを受講されて資格をお持ちの方もいらっしゃるかと思いますが、3年間、3年過ぎるとまた新しく更新して受けていないと有効期限が切れてしまうということなので、331-B 地区では阿部ガバナー一度公認ガイディングライオン、複合でされております。ですから、その方はもう1年半ぐらい過ぎているということですので、もしこの機会にまた受けていただければ延長になりますので、ご参考頂きたいと思います。ご案内の方には、たぶん登録料が1万円になっているかと思いますが、札幌に出かけて、12月に出かけて、1万円という研修費を負担するというので、少しハードルが高いですが、ぜひそういった方々に受けて頂いて、レベルを上げて頂きたいと思いますので、お願いを致します。以上です。注) ガイディングライオンがクラブを担当する期間は「2年間」

10. 地区 GMT 副コーディネーター L. 大和田 収

みなさん、こんにちは。副を務めさせていただいております大和田と申します。どうぞよろしくお願い致します。矢吹ライオン、本日都合により欠席をされておりますので、私の方から説明をさせていただきます。まず、SWOT分析についてでございます。第1回のSWOT分析リモート会議を開催しております。日にちが10月15日火曜日。時間が午後3時から午後4時30分でリモートで行っております。出席の方は、伊東ガバナーはじめ、コーディネーター会議のメンバーの方をお願いしております。その中で、まず矢吹ライオンからは、稚内キャビネットにて行ったSWOT分析、69クラブ中47クラブの回答で、68%の回答率となっています。まだ回答していない22クラブには、今後SWOT分析の提出をお願いしたいということでございます。この会議の中では、いろんなお話がなされました。行動計画に移行するためにも、ぜひSWOT分析が必要です。それから、第2回のキャビネット会議、今回ですけれども、そのゾーンチェアパーソンに説明する資料を作成して頂きたい、また、SWOT分析の内容のハードルを少し下げてはどうか、そういうような意見、また、アンケート形式のSWOT分析をしてはどうかというような意見が多く出ております。その中で最終的には、この68%の回答率ですけれども、ページ数にしますと99ページ100ページぐらいの資料となっております。1クラブから14、それから10とか9とか、数多くの回答は出ております。なかなかこれを一つにまとめて結果報告するにはもう少し時間が足りないということでございます。もう少しお待ちになっていただきたいと思います。今回の会議でご説明できないということで、お詫びを申し上げたいと思っております。私からは以上でございます。よろしくお願いいたします。

11. 地区 GST コーディネーター L. 喜多 武彦

報告を2件致します。まず1件目、献血量についての実績の報告をいたします。8月末の献血アクティビティが12件、動員数は724人、285,600cc。9月末の献血アクティビティについては15件、動員数が977人、381,200cc。10月末の献血アクティビティは26件、動員数が890人、317,400cc。累計で献血アクティビティは53件になります。動員数につ

きましては2,591人、984,200cc。今期は目標を掲げていませんが、例年の目標で言いますと、250万ccであります。それに対しては、この4ヶ月で39%となっております。順調にご協力を頂いているところです。次に2点目、複合地区の事業報告をいたします。複合地区では年に1つのライオンズクラブと1つのレオクラブに「思いやりは大切なこと」奉仕アワードを推薦することができます。今期につきましては、中標津ライオンズクラブを奉仕アワードに推薦致しました。推薦奉仕事業の内容ですが、2024年5月に学校法人岩谷学園ひがし北海道日本語学校の留学生と一緒に学校の敷地沿いに20本の桜の苗木を植樹されました。多文化共生の象徴として当日は、ミャンマーや、スリランカなど各国からの留学生及び教職員30名以上とともに、植え方を説明しながら、和やかな雰囲気の中で作業をされたと報告を頂いております。留学生は皆初めての経験であり、開花の頃にまた戻ってきたいとの感想が出され、来年以降も継続を予定との報告を受けております。植樹は環境保護に資する事業であり、桜は日本の春を象徴する花であり、日本の心ともいえ、留学生は日本の文化に触れるとともに、植樹を通していつかまた戻ってきたいという心を育み、中標津町を第2の故郷として、将来の関係人口になることを期待すべき事業と捉えております。学生たちを植樹という異文化交流事業で、継続的に応援をされるということです。以上、稚内キャビネットに始まった「環境保全」という観点から、10月7日に推薦に署名をさせて頂きました。聞きづらかったと思いますけれども、お詫び致します。以上、GSTコーディネーター報告と致します。ありがとうございます。

12. 地区スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター L. 大津 幸三

SCP・FWTの報告をさせて頂きますが、報告というよりは、今回は改めてのゾーンチェアパーソンの方々へのお願いになりますので、よろしくお願い致します。今年度のFWTとしては、会員増強の部分で、家族会員、それから女性会員、そして支部の創設ということで、そういう増強をミッション1.5に、地区として貢献したいということで掲げております。コーディネーターとして、大変申し訳ないんですけども、効果的な勧誘例、それから増強例というのをお示しできずに掛け声ばかりで申し訳ありませんが、各クラブではSWOT分析をされているかと思っております。その中で結果として、対外的なPRが会員増強には必要だというような結果も、一部出ているかと思っております。各クラブのメンバーの皆様が、もう一度、今一度、その家族を含めまして、奥様、お子様を含めまして、PRしていただく、そしてあるいはFacebookやInstagram等を使ってですね、クラブのPRをしていただいて、明るく楽しいライオンズクラブがあるということを広く知らしめて頂ければ、また勧誘がしやすいんじゃないかなというふうに思いますので、その辺の取り組みを改めてですね、各クラブの方へお願いして頂きたいというふうに思います。それから、続きましては事業の方でヘッドネーションです。主な事業として、小児がん患者支援のためのヘッドネーションを進めていくということで、今回、第1回のキャビネット会議でも報告致しましたが、それについてのまたお願いなんです。実は、北見白樺ライオンズクラブさんで、非常にこのヘッドネーションを積極的に取り組んでいらっしゃるしまして、クラブ独自でですね、ヘッドネーションキットというものを作ってですね、美容室の方へ配布して頂いて、ヘッドネーションを、啓蒙を促進して頂いているというところでもあります。ぜひ今回、我々のキャビ

ネットもそれをぜひ真似をしてですね、見習ってヘアドネーションを進めていきたいというふうに思っておりますが、このキットをですね、これは北見白樺さん独自で作っているキットを、実は拝借いたしまして、それにほぼ則してというか、すごい素晴らしい出来のものです、ほぼそれを真似してですね、皆さま方に配布したいと。ぜひ早いうちに配布してですね、今度の諮問委員会の全クラブに、ゾーンチェアパーソンの方々に全クラブに配布して頂いてですね、ぜひ、周知それから啓蒙を、そして促進して頂きたいという思いで配る予定にしておりますので、ぜひご協力をお願い致します。各リジョンのゾーンチェアパーソンの皆様には、いろいろご面倒をおかけしますが、明るく楽しいライオンズクラブのために、ぜひご協力をお願いしたいというふうに思います。以上です。ありがとうございます。

13. 地区 GET コーディネーター L. 村山 聡

はい、GET コーディネーターの村山でございます。本日は皆様、大変ご苦勞様でございます。冒頭、伊東ガバナーの方から、十勝清水さんですか、解散のお話を聞きました。本当にショックなことでございます。我々GET としても、新しいクラブを何とか今年度中に作ってきたいという思いで活動させて頂いておりますけれども、現状は解散をされる、決断をされるクラブの方が多いと聞いております。是非ですね、先ほどガバナーもお話がありましたけれども、支部会員、みたいな支部クラブですね、存続をなんとかして頂けるように、ゾーンチェアパーソンの皆さん方、各近隣のクラブ会長の皆さんにですね、ご協力を頂きたいと思っております。で、新しいクラブですけれども、前回の1回目ときの会議にもお話をさせていただきました。こちらの地区でですね、帯広の地区で、東北海道 WEB ライオンズクラブ、昨年できたということで、習って私どものエリア、道北のエリアになりますけれども、こちらでなんとかウェブクラブを作りたいという思いであります。各、うちのリジョンのエリアはですね、本当に町と言われる、町のクラブがだんだん減ってつてるといところで、ほんとに市のクラブしか残ってない状況であります。その中で新しいクラブもなかなか難しいということで、我々のゾーンはもともと9クラブがあったんですけれども、現在は3クラブで活動しているという部分があって、もともと9クラブがあった音威子府から下は 和寒町までなんです、そこの若手の皆さんにキーパーソンになってもらって、そんな方を今選出をしている最中になります。また隣の、ライオンズクラブがなかった下川町にも、新しい若い、若手のライオンズクラブに興味を持ってくれているメンバーがおりましたので、そういう方をまた中心にして、今随時メンバーを集めてるとい状況になります。ただ、何ぼ広域で集めても20名集めるというのが大変至難の業でありまして、なんとか今、各地域のライオンズクラブの皆さんにご協力いただいてですね、1クラブ結成に向けて頑張っている途中でございます。次回は、第3回目はウェブですが4回目までに何とか報告ができるように頑張っておりますので、よろしくお願い致します。私からは以上です。

14. 各委員会報告

長期計画リサーチ委員長 L.藤原 回向

皆さん、お疲れさまでございます。先ほど、長期計画リサーチ委員会を開催いたしましたので、そこで話し合われたことを2点ほどご報告いたします。まず最初に話し合われたことはですね、この331-B地区内におけるゾーンの編成ですね。これを見直さなければならないのではないかというご意見が多々出ております。それについてリサーチ委員会の方で今日皆さんで話し合いました。只今村山ライオンの方からお話がありましたけれどもですね、これからエクステンションしようとしているクラブもあるんだと。今ここでもって早急にそのゾーン内の再編成をやったならば、またクラブ数の中でもってバランスが取れないという意見が、またなるのではないかと。しばらくは皆様方の頑張りでもってクラブをどんどんエクステンションしていただく。その結果を踏まえてからもう一度考え直す。地区内のゾーンね、再編成ということ考えた方が良くはないかと。今はとにかくエクステンションを頑張ってもらって、ゾーン内のクラブ数をなんとか国際協会の表示の方に持って行って、当初のゾーン内のクラブ数に合わせるようにして頑張ってもらおうというようなところで、今のところ、とりあえずゾーン再編成は、皆さん方のエクステンションの頑張りを見てからにしましょうということ、今のままでしばらくはいきましょうということ、ございました。それともう一点ございますけれども、これからのこの地区を引っ張っていかれる、リーダーとなられる、ガバナーの候補者、どなたがおられるのかということ、でございます。皆さん方正面に、第1副地区ガバナー、第2副地区ガバナー、ご覧になるかと思えます。また、その後続く候補者の方々、どれだけおられるのかということ、でございます。それで、先ほどもお話がございましたけれども、立候補の届出締め切りが12月16日ということ、でございます。12月16日にどなたが立候補の届出を出すかということ、ございましたけれども、これはお一人の方だということは既に決まっておると、推薦を頂いているということ、伺っておりました。それに対しまして長期リサーチ委員会には何を申すことはない、そのとおり淡々と進めて頂きたい。また、その後続く立候補予定をされておられる方もおられます。その方も、やはり自分のリジョン内のクラブから推薦を頂いて、意欲があふれておるということを、長期リサーチの中でもって、その認識を共有致しました。それに対してもですね、我々は全力で応援していきましょう、頑張ってくださいということ、いきたいと思います。私さらに、もうお一方が立候補されるのではないかと意思を固めておられるし、クラブの中もその意思を認めておられるということ、でございます。それに対してもですね、私どもとしては何も申すことはない、どんどんどんどん進めてください、頑張ってくださいということが長期リサーチの考え方でございました。そういったようなところでもって、今回のキャビネット会議でもって長期リサーチ委員会でもって話し合われたところ、ございました。そういったようなことで、これから未来に対してですね、331-B地区はこれから、先頭に立つ、頑張るという方がたくさんおられるということで、委員会一同意を表したところでございます。そういったことをご報告申し上げまして、終わらせて頂きます。

地区大会委員長 L.岩崎 雅人

恥ずかしながら、先ほど審議事項の中で、お話しさせて頂くことは全て話してしましまして、改めて新しい報告がない状況でございます。

大変恐縮至極でございます。すみません。ただですね、今、頭の中、皆さんと話している中でも、こうしたら楽しいんじゃないかとか、そういう意見はいろいろ出てきています。ただ一つですね、ホストクラブの皆さんと協力のもとで、一生懸命どうやったら楽しんでいただけるのか、まあ、式典はきちっとしたものをやるんですけども、晩餐会、それからゴルフ大会、それから他諸々、前夜祭も含め、すべて皆さんの記憶に残るものを楽しく作っていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

会則、コンプライアンス副委員長 L.高橋 哲也

はい。会則委員会で、コンプライアンス委員会の副委員長の高橋です。まずですね、ライオンズクラブ国際会則及び付則ですけれども、これは2024年の6月25日に改訂されました。大きな改訂としましては第二副地区ガバナーの要件が変更となったことです。先程キャビネット幹事からも説明があったところですが、会議要録の148ページをご覧ください。148ページの下側の茶色の網掛けになっている部分ですね。ここがね、訂正されたところでしてこれまでは第二副地区ガバナーの候補者の要件は国際会則の付則9条6項にあり、まず、クラブ会長を全期または過半の期間、そして理事会構成員としてさらに2年以上務めたもの、であり、そしてこれまではZC、RC、キャビネット幹事、キャビネット会計のいずれかの役職者として、前期又は任期の過半を務めた者でなければならないとなっていました。このたびの改訂で国際会則付則第9条第6項(c)(3)(b)で地区グローバル・エクステンション・チーム・コーディネーター、地区グローバル指導力育成チーム・コーディネーター、地区グローバル会員増強チーム・コーディネーター、地区グローバル奉仕チーム・コーディネーター、地区LCIFコーディネーターなども第二副地区ガバナー候補者となれることとなり、候補者となれる資格が拡大されておりますので、ご注意ください。また、これは従前より決まっていたことではありますが、国際会則の付則12条2項で、2024年7月より半期分国際会費は、米ドルで24ドルですが、2025年7月より、半期分国際会費が米ドルで25ドルと1ドル増額となります。これもご注意頂ければと思います。また、コンプライアンス委員会についてですが、現時点でコンプライアンス委員会宛てにコンプライアンス違反の事例は報告されておらず、コンプライアンス違反は確認されておきませんので、その旨ご報告致します。

国際大会・国際協調委員長 L.岡村 廉明

私の方からはですね、来週11月14日から開催されますオセアラルフォーラムにつきましてご報告を申し上げます。来週14日からタイ、パタヤにて開催されます。331-B地区からは参加者22名ということになっております。内容につきましては釧路みなとライオンズクラブ2名、帯広平原ライオンズクラブ1名、留萌ライオンズクラブ1名、留萌みなとライ

オンズクラブ7名、北見ライオンズクラブ7名、網走ライオンズクラブ4名ということで22名となっております。内容につきまして若干触れさせていただきますけれども、13日に飛行機で発って頂いて、14日にはオプションツアーで市内観光等して頂きながら、夜には331-B地区の夕べということで触れ合いを持って頂くということでございます。15日には開会式、そして夕方には北海道の夕べということで全道の皆さんと触れ合ってください。16日になりますと各種セミナーが開催されまして、最後に国際会長晩餐会ということで、世界と触れ合ってくださいということになっております。参加に関しましてご検討頂いた皆様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

薬物乱用防止・献血献眼副委員長 L.小滝 愛子

薬物乱用防止・献血献眼委員会、副委員長の小滝です。本来でしたら委員長の山中がご報告を申し上げるところではありますが現在海外へ遠征中のため代わりに委員会報告をさせていただきますことをご了承下さい。現在薬物乱用防止教育認定講師養成講座の開催に向けて計画を組んでおります。本年度はコロナ明けもあり、麻薬覚せい剤乱用防止センターの方において2025年度計画で実施してほしい旨を伝えて頂いており実施に向けて管轄である北見警察署二課と打ち合わせをしております。日程の方は2月開催を検討しておりますが講師となる北見警察署の日程も調整してからとなります。決まりましたら皆様へ養成講座開催の上程をさせていただきますのでよろしくお願い致します。また、日ごろは献血の運動に対し多大なるご協力を賜りこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。以上です。

レオ・青少年育成、アラート、YCE委員長 L.浅野 敬一

レオ、浅野でございます。よろしくお願いたします。まず、アラート委員会の報告ということですが、先ほどのガバナーの方からですね、北見市、紋別、網走、共同で協定を結ぶ、こんなことをやっているところは全国にないです。私、一般社団法人の日本ライオンズの会議に出ています。今回、20日の日に4回目あります。そのときにですね、このことを報告してみようと思っております。ここまでやっているところはなかなかないものですから、理事長に、まあ、理事長もちょうど出てくるものですから、理事長にちょっとなんか、アワードかなんかいただけないかなということで、ちょっと考えてます。網走ライオンズクラブがこれ、もともと一生懸命やって頂いているので、網走ライオンズクラブに対して何か理事長表彰だとか、そういうものを頂きたいなど。またキャビネットの方にも、ガバナーからアワードを何か一つ頂ければなと思っております。これは私の気持ちですけど、アラートはもともと前から言っておりますけど、社会福祉協会との協定をずっと推進させて頂いております。結構進んでおりますけども、全く進んでいない地区もあるんですね。地区の名前は言えませんが、多分わかっていると思うので、その地区のですね、そのゾーンチェアパーソンの皆さん誠にお忙しいと思うんですけども、各地区の、各市町村に必ず、協定書を結びませんかという文書が日本ライオンズの方から行っています。ですからできれば社会福祉協議会の方に出向いていただいてですね、お話をさせていただいて

協定を結んでいただきたいと思います。それとですね、協定を結ぶだけだと結構簡単なんです。協定を結んだ後の問題で、やっぱり網走ライオンズクラブさんは各ボランティアグループと一緒にですね、市だとかJ Cだとか、いろんなところと提携して訓練をやっているんです。その訓練をやること自体が本当に大事で、災害が起きたときにどうやって動くのか、何をやるのか、ライオンズクラブはどこまでできるのかというところの判断がきちっとできるはずなので、ですからガバナーが言った通りに、やっぱり協定を3つで結んでそういう訓練をやると、どこかで何かあったときに、皆で協力できるということで非常にありがたい考え方をさせていただいているなと思って感謝を申し上げます。また、我々は10月30日に北海道主催のですね、災害ボランティアに対する研究会みたいなものにちょっと出席してまいりました。やはり、同じようなことを言っているんです。みんなで協力してやれば幅広く。で、私、キントーンだかっていうなんか、サイトを使ってやると非常に、それちょっと僕もあまり、まだよく分かってなくて、キントーンっていうやつで調べて頂ければ分かると思います。で、キントーンもいいんですけど、やっぱり、結局僕ら人間なんて、人間同士、コミュニケーションを取りながらやっていかなければいけないなと思いました。それから、青少年育成事業。育成委員会としては9月28日に帯広、釧路、オホーツクと3レオクラブが集まって合同例会、オータムキャンプを行いました。夜に例会を行いまして各種勉強会を行いました。次の日、帯広の森陸上運動競技場というところですね、朝6時集合で、夕方の4時ぐらいまで障がい者スポーツ大会というのがありまして、その手伝いをみっちりやってきました。非常にやっぱり、障がい者に対する我々の優しさを出さないといけないので、一生懸命、レオの皆さんの優しさを出してやっている姿を見ますと、レオにもやっぱりこれ、すごくいい影響があったんじゃないかと。年寄りの俺たちが、本当に動けない方の車椅子を押して、グラウンドを一周して帰ってくるっていう、その作業だけでも、すごい充実感があって、すごく良いアクティビティだったなと思っております。私は全員本当に心に染みるような活動だったんじゃないかなと思いますので、これもまたどこかであれば、またやっていきたいなと思ってます。続きまして、YCE委員会ですが、これは実はうちの副委員長が複合の方のですね、YCEの副委員長をやっているものですから、私も詳しいんですよ。だけど、私より詳しいんで、悔しいですけどちょっと渡します。よろしく申し上げます。

レオ・青少年育成、アラート、YCE副委員長 L.小野寺 一史

私の方からYCE事業に関する途中経過と申しますか、進捗状況を皆さんにご報告させていただきます。一カ月くらい前に皆様方のクラブに2025年夏季のYCE受入、派遣に関するアンケートを送付させて頂きました。それで昨日時点で、まだ現状頂いていないクラブが26クラブございまして、これ今、MD331の方で役員が一新しまして、若手の複合の役員の方が一生懸命取り組もうとしております。それはですね、今までYCE事業というのは、全国の地区で、代表となる複合地区が一括に取りまとめて、派遣、受入のお手伝いをさせて頂いていますが、そのシステムが変わりまして、331独自で派遣、受け入れも、手続きも、私たちが担う形になりまして、これはのんびりしてられないということで、国際協会のYCEのホームページを開いて頂くと、国際ディレクトリというのがありまして、そこを今

どれだけ海外から受け入れますよというのを私今朝見させていただきましたが、やっぱりヨーロッパとか、特にアメリカ、インドネシア、シンガポール、ぞくぞくと出てまして、残念なことに日本は東京の地区、1地区だけでした。なので、これはもう、まだご返事頂いていないクラブにですね、いろんなご意見、例えばできない理由、それをこれから解明していくために、複合の新しいやり方、いろいろ解明していきましょうという委員会でそういう話になったので、いろいろなご意見をぜひ頂戴したいと思います。それで、今日現在の来年の夏季の YCE 派遣受入れについてですが、まず派遣ですけれども、私のクラブの標茶ライオンズクラブから2名、女子高校生生徒2名を派遣する予定であります。これもですね、先ほど、別の委員会でもお話しさせていただいたんですけれども、1リジョンはですね、15年ほど前に、これは、一つのクラブに背負わせるのではなくて皆で協力して、世界共通の数少ないアクティビティなので、何か協力してやりましょうということで、合同の委員会基金を1リジョンは作っております。その中の基金を活用させて頂いて、なんとかうちのクラブが窓口になって派遣するというようになっていきます。それで、受け入れに関しましても、3クラブさんから条件的に合えば受け入れてもいいですよという検討をいただいております。これは、A地区、C地区のアンケートの結果を見ても大変、3クラブ受け入れてくれるんですかという優秀な回答ですので、皆さんもまだご返答いただいていないクラブもですね、ぜひ受け入れる受け入れないは別にしてこんなのが条件が充実したら何とかかなるというようなそういうご意見を頂戴できるのかと思っております。よろしくお願い致します。私からは以上です。

マーケティング・IT委員長 L.伊藤 慎司

委員長の伊藤です。どうぞよろしくお願い致します。まず、エコー誌につきましては、8月号、10月号を発行いたしました。現在、12月号発行に向け編集しております。各クラブの皆様、各委員会の皆様には、原稿依頼に対しまして快く応じてくださることに對しまして、誠にありがたく感謝申し上げます。また、ホームページにつきましては、予定通り7月に開設しております。サバンナやライオンポータルへアクセスする際に、北見キャビネットのトップページにあるバナーからアクセスをできますので、是非、ご活用頂ければと思います。また、キャビネット会議要録、議事録、エコー誌などは随時更新しておりますのでご覧ください。また、エコー誌につきましては、過去の資料もご覧できますので、そちらの方も見て下さい。以上で委員会報告致します。ありがとうございました。

国際平和ポスターコンテスト委員長 L.折笠 充

平和ポスターコンテスト委員会よりご報告申し上げます。ただいまの作品の応募状況でございますが、留萌ライオンズクラブさんより31点、本別ライオンズクラブさんより4点、網走桂より1点、合計36点の応募でございます。皆様のご応募、ありがとうございました。それと表彰の内容でございますが、最優秀賞として1点、優秀賞で3点、敢闘賞で5点、佳作5点、ガバナー賞2点、キャビネット賞2点、他に参加賞として記念品の贈呈、年次大会への応募作品の全点を掲示ということを考えております。あと、要録56ページの

2022年5月30日、複合の年次大会ですね。高井ガバナーかと思います。のときにですね、複合年次大会で議案として提出されております。複合がホスト地区ですかね、札幌・オセアルフォーラムのですね、ホスト複合地区になるというのをですね、議案として提出され可決されております。この時にはですね、予算もそれからどういう内容でやるというのですね、しっかりと年次大会のこのプログラムですね、印刷されておまして、私もそれを持っておりますので、もしよろしければ後でご覧になっていただければと思います。正式に議案として出して可決されております。以上です。

Z・C L. 豊田 典正

はい、ありがとうございます。あの一、23年の士別の地区年次大会の時に第2分科会で負担金に関しての言及がありまして、3年間各千円、それから地区にも負担金がある、ということで決まったのですが、問題はまず我々がもしホスト地区であるならば、この議案第2号この時の331-B地区は、この規則は2025の札幌に適用される内容に関わらず、331-B地区の総意は不足金に対して負担しないという決議がなされておまして、それでオセアルの大会で実は皆さんご存じのように、5条9項にホスト地区に関しては負担金が負担せざる負えないというような条文が判明しまして、この辺の齟齬と言うんでしょうかね、整合性というのがどのようにお考え、もちろん我々は登録をたくさんして、それであればいいんですが、日本で特に北海道全体で、登録を積極的にやらないといけないんですが、先程クラブ訪問のお話しをしまして、やはり微妙な雰囲気ですね。特に町村の方たちは、強制的なお金に関して決議されてもちろん自分たちの負担金額を3年間でいくらでもいいんですが、その後のことに関しては非常に抵抗を感じている。場合によっては、またそういう話また後で出てくる。非常にあのいかななものかという手応えもあるんですね。それに関してもちろん登録することによって負担金はなくなる訳ですが、このへんに関してどのような見解をお持ちなのかなど。見通し等如何でしょうか

第一副地区ガバナー L. 大島 尚久

私の方からですね後でお話ししようかなと思っていたのですが、8複合でですね、協賛をいただくということで、1人2千円、8万、9万、全国にいますので、1億8千万円、それがしっかりと入ればですね、北海道の複合からも入りますし、登録料もありますので、何とか黒字にはできるんじゃないかなというふうに思っておりますが、いかんせんその8複合が本当に入ってくるのか、今の時点では、見ましたらば、10地区前後くらいしかまだ、今のところ入っていないんですね。これから入ってくるとは思うんですけども、それが入ってこないとなると、登録料をかなり頑張らないと難しいかなと思っておりますので、これはなんとか、全国のですね、複合の皆様方に理解をして頂いて、払って頂くということですね、お願いさせて頂くというふうに思っています。整合性に関しては、あの時に言われていたのは、そういう決議をすることでA地区の人たちに、何としても赤字にならないように、頑張って予算を縮小してもらおうということで、A地区も今、実行委員会立ち上げの準備をしていますが、それほどお金がかからないように、あまり派手にならないよう

にというふうにはおりますが、いかんせん、札幌ドームでやったりですね、コンベンションセンターも何日も借り切っているということで、かなり皆さんはかかるというふうに思います。私から言えることは、大変申し訳ないですが、そのくらいでございます。

Z・C L. 豊田 典正

士別決議というのは、これはやはり今おっしゃった 331-B 地区のみの総意の表明をするためのことであって、現実的にはやっぱり 5 条の 9 項に則らなければならないということなんでしょうか。

第一副地区ガバナー L. 大島 尚久

それは残念ながら仮定の話ですので、来期ですね、決算が出た段階で、まあ協議しないとならないのが、来期の話になるんじゃないかなと思いますけれども、10 月に終わって、なるべく早く決算を出してもらって、無事になったときには、またキャビネット会議等で協議しなければならないのかなと思っておりますが、なかなかそのホストクラブになってしまっていますので、私たちは知りませんよということには、決議をやるにしても難しいのかなと思います。

Z・C L. 豊田 典正

はい、ありがとうございます。もう一つ、よろしいですか。ライオン広瀬にご質問があるんですが、先ほどもちょっとポータルサイトのお話がありましたが、公益財団法人の特別委員会委員長と言うことですが、基本的に一般社団としてですし公益財団に関してもあとちょっと一つよくわからないのですし、それから、これは我々とどのような関係で、将来的にどこを見てるのか、その辺がちょっとよくわからない。何か勝手に活動されているし、その手順などが良く判りません。何かちょっと釈然としないですし、それにちょっと簡単に説明していただければと思うんですけど。

第二副地区ガバナー L. 広瀬 寛人

この 18 番で部分が触れられるので、終えてからもう一度そこでわからなければ、ご質問いただけますか。18 番で説明致した後で、もしわからなくなったら最後ご質問ください。よろしくお願ひします。

キャビネット運営副委員長 L. 松田 佳陽

よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。そのほかございませんでしょうか。はい、では松平さんお願ひ致します。

Z・C L.松平 範慶

失礼いたします。第5Rの第2Zの津別ライオンズクラブ、ゾーンチェアパーソンをさせて頂いております、松平と申します。この度、長期リサーチ委員会の方に提出させて頂いた話がございまして、それは、2028-2029年度の地区ガバナーの立候補ということでございます。この北見中央ライオンズクラブさんの推薦の方がございまして、ライオン浅野敬一が、第5Rから、この2028-2029年度の地区ガバナーとして立候補をしたいというような予定を表明されました。それで、そのお話を聞きまして、第5Rのそれぞれのクラブでも、ぜひ応援したいという思いを、それぞれのクラブに持ち帰っていただきまして、そして、それぞれのクラブから同意書というような形を回したので、その思いをさせて頂いたところでございます。この間、10月21日が締め切りでございまして、その締め切りまでに全クラブが同意して頂きまして、そして、浅野敬一Lのガバナー立候補を皆様に応援させて頂くということの同意をさせて頂きました。この度、長期リサーチ委員会の方から、藤原回向Lからこのお話をしていただけののかなと思っておりましてけれども、出なかったのも、私の方からこういう形で報告させて頂きましてけれども、一応、出なかったということも含めて、ちょっとお話いただければと思います。よろしく願いいたします。

キャビネット運営副委員長 L.松田 佳陽

はい、それでは藤原L、お願いいたします。

長期リサーチ委員長 L.藤原 回向

私、お名前は出しませんでしたけれども、長期リサーチ委員会の方でお話を致しまして、素晴らしいことですねということで、皆さん一致したところでございます。以上です。お名前を出すのはですね、やはり12月16日の立候補締め切りまで、2副地区ガバナーですね、その結果を見なければちょっと控えたほうがいいかなというふうにてございます。それと、ここにおられる皆さん、それぞれご存知かなということも、察して頂きたいということでございます。お名前はあえて出しませんでしたけれども、ただいま申されたとおりでございます。

キャビネット運営副委員長 L.松田 佳陽

はい、では二宮幹事、お願いいたします。

キャビネット幹事 L.二宮 雄一

委員長がいろいろお考えがあつて、お名前はこのお話がありましたけれども、5リジョンの方の意向は明確に僕、長期リサーチでお話していますし、そして、今年の12月の16

日に先ほど説明した立候補に関しては、柳澤Lが正式に立候補の書類を全部、うちはキャビネットとして受理しているということは、長期リサーチに、報告しています。間違いなくしていますから。12月まで出せないというのは、立候補制度がある以上は、一番最初に柳澤さんを出したとしても、例えば、他の人が12月の16日まで出たとして、立候補だからいいわけですよ。今、名前を出さないというのは、僕、全然分からないので、長期リサーチの会議に出ているのは僕ですので、皆さんの考え方は、分からないんですけど、少なくとも柳澤さんから正式に書類を全部頂いております。そして、浅野さんに関しては、ゾーンチェアパーソンに本当に頑張っていて、5リジョンの意見をまとめて、そういう形になったということは、僕は長期リサーチで報告していますので、委員長はどういう判断で話していないのか分からないので、ただ、私がキャビネット幹事として長期リサーチに参加して、皆さんのして頂いたこと、提出頂いたことは、報告させていただきます。以上です。

キャビネット運営副委員長 L.松田 佳陽

はい、あとございませんでしょうか。はい。

第一副地区ガバナー L.大島 尚久

すみません。第一副地区ガバナーL.大島です。えっと、来年度のことで、大変申し訳ございません。前回のキャビネット会議でもお話ししたんですが、ゾーンチェアパーソンの方にお願ひでございます。できるだけ早く次期のゾーンチェアパーソンを決めて頂いて、報告して頂ければと思います。用紙を今日お持ちしましたので、後でお渡し致しますので、ゾーンチェアパーソン、ゾーン委員、地区MC・YCE委員ですね、こちらに丸をつけて、何とかこちらのキャビネットですね、北見キャビネットに提出をお願いしたいなというふうに、よろしくお願ひします。

キャビネット運営副委員長 L.松田 佳陽

よろしいでしょうか。それではここで質疑応答を終了させていただきます。

16--OSEALフォーラム運営特別委員会委員長L.大島尚久より-

・OSEALフォーラムの収支、参加することへの意義について説明有

17--GLTコーディネーターL.広瀬寛人より-

・GLTセミナーにてライオンポータル登録、活用について説明有

18--公益財団法人日本ライオンズ特別委員長L.広瀬寛人より-

・公益財団法人日本ライオンズ活動報告として組織、事業、寄付等について説明有

キャビネット運営副委員長 L.松田 佳陽

では、この件につきまして何かご質問等があればここで受けますが、どうでしょうか？大丈夫でしょうか？以上をもちまして、全てのキャビネット会議のプログラム、終了とさせていただきます。

それでは、最後に閉会宣言、並びに閉会ゴング

地区ガバナー ライオン伊東 隆志、お願い致します。

19. 閉会宣言並びに閉会ゴング

地区ガバナー L.伊東 隆志

2024-2025年度 ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2回キャビネット会議議事録について、確認の上承認します。

2024年11月18日

議 長 地区ガバナー L. 伊東 隆志

議事録作成 運営委員長 L. 田尾 忠正

議事録署名人 キャビネット幹事 L. 二宮 雄一【押印省略】

議事録署名人 キャビネット会計 L. 山田 兼士【押印省略】



2024-2025年度ライオンズクラブ国際協会331-B地区キヤピネット組織表

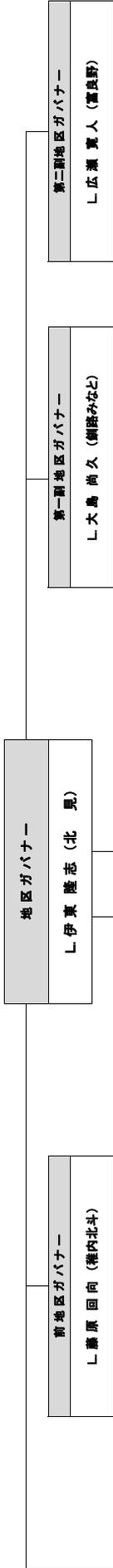
【国際テーマ】 We Serve (われわれは奉仕する)

【2024-2025 ガバナーズローガン】

【国際会長メッセージ】 足跡をしるす

明るく、楽しい、ライオンズ

国際会長
L.フアブリシオ・オリベira



地区名誉顧問会議

L.中谷 重臣 (網 走)

地区名誉顧問会

L.藤原 回向 (稚 内 北 斗)
 L.阿部 昭 (士 別)
 L.香川 俊雄 (帯 広 中 央)
 L.奥山 泰雄 (網 走)
 L.山田 正昭 (網 走)
 L.佐藤 雅雄 (富 良 野)
 L.井ノ浦 義明 (稚 内 北 斗)

キヤピネット(幹事・会計・運営委員)

幹 事 (全 般) L.二宮 雄一 (北 見)
 会 計 (広 報) L.山田 兼士 (北 見)
 副 会 計 (財 務) L.伊藤 慎司 (北 見)
 運営委員長(副幹事) L.田尾 忠正 (北 見)
 運営副委員長(副幹事) L.辻 太郎 (北 見)
 運営副委員長(副幹事) L.友田 善一 (網 走)
 運営副委員長(副幹事) L.松田 佳晴 (網 走)
 運営委員長(副幹事) L.島越 幸枝 (北 見)
 運営委員長(副幹事) L.寺中 賢武 (網 走)
 運営委員長(副幹事) L.大原 崇雄 (網 走)

地区 LCF

コーディネーター L.伊東 隆志 (北 見)
 副コーディネーター L.大島 尚久 (網 走)

コーディネーター

GAT(グローバル・アクション・チーム) コーディネーター 副コーディネーター
 GLT 指導力 育成 L.広瀬 寛人 (富 良 野) L.坂本 秀 芽 (富 良 野)
 GMT 会 員 増 強 L.矢吹 定夫 (帯 広 平 原) L.大和田 収 (本 別)
 GST 参 事 任 務 L.吉多 武彦 (士 別) L.佐藤 正明 (美 瑛)
 SGP 参 事 任 務 L.大津 幸三 (網 走) L.木下 裕幸 (網 走)
 FWT 参 事 任 務 L.佐藤 正明 (美 瑛)
 GET 新 ク ラ ブ 結 成 L.村山 聡 (名 寄) L.松下 真二 (名 寄)

長期計画リサーチ委員会

委員長 L.藤原 回向 (稚 内 北 斗)
 副委員長 L.大島 尚久 (網 走)
 委員長 L.広瀬 寛人 (富 良 野)
 委員長 L.中谷 重臣 (網 走)
 委員長 L.中野 修吾 (稚 内 北 斗)
 委員長 L.二宮 雄一 (北 見)
 委員長 L.木村 宏幸 (網 走)
 委員長 L.佐藤 雅治 (富 良 野)

地区委員会

委員長 L.白川 利幸 (北 見)
 副委員長 L.山本 一男 (北 見)
 コンプライアンス 副委員長 L.高橋 哲也 (網 走)
 副委員長 L.岡村 康明 (網 走)
 副委員長 L.小田 大哉 (網 走)
 副委員長 L.山中 大輔 (北 見)
 副委員長 L.小滝 愛子 (北 見)
 副委員長 L.浅野 敏一 (北 見)
 副委員長 L.佐藤 豪一 (帯 広)
 副委員長 L.清野 芳明 (帯 広)
 副委員長 L.伊野 浩一 (網 走)
 副委員長 L.小野 修一 (北 見)
 副委員長 L.坂根 浩 (北 見)
 副委員長 L.折笠 亮 (網 走)
 副委員長 L.上野 恭裕 (網 走)

ゾーン・フェアメンバーズ

1Z L.佐々木 良吉 (網 走)
 2Z L.足立 計典 (東 京)
 3Z L.高橋 昭典 (東 京)
 4Z L.豊田 義正 (帯 広)
 5Z L.明石 敏弥 (名 寄)
 6Z L.藤田 隆明 (稚 内)
 7Z L.藤坂 敏夫 (稚 内)
 8Z L.松平 範慶 (津 別)

所 属 ク ラ ブ

1R L.佐々木 良吉 (網 走)
 2R L.高橋 昭典 (東 京)
 3R L.豊田 義正 (帯 広)
 4R L.明石 敏弥 (名 寄)
 5R L.藤田 隆明 (稚 内)
 6R L.藤坂 敏夫 (稚 内)
 7R L.松平 範慶 (津 別)

所 属 ク ラ ブ

1R L.佐々木 良吉 (網 走)
 2R L.高橋 昭典 (東 京)
 3R L.豊田 義正 (帯 広)
 4R L.明石 敏弥 (名 寄)
 5R L.藤田 隆明 (稚 内)
 6R L.藤坂 敏夫 (稚 内)
 7R L.松平 範慶 (津 別)

地区大会委員会

委員長 L.岩崎 理人 (北 見)
 副委員長 L.永田 裕一 (北 見)

地区大会事務局

事務局長 L.山田 兼士 (北 見)

特別委員会

委員長 L.大島 尚久 (網 走)
 副委員長 L.広瀬 寛人 (富 良 野)

レオクラブ名称

帯 広 レ オ ク ラ ブ
 網 走 レ オ ク ラ ブ
 オ ホ ー ツ ク レ オ ク ラ ブ

ス ポ ン サ ー ク ラ ブ

帯 広 中 央
 網 走
 北 見 中 央

2024-2025
 ライオンズクラブ国際協会331-B地区
北見キヤピネット事務局
 〒090-0024
 北見市北4条東1丁目3 伊藤ビル3階
 TEL 0157(33)4445・FAX 0157(33)4446
 E-mail: kitanm-cab@hyper.com.ne.jp

地区会計監査委員

L.松本 憲治 (網 走)
 L.中川 弘貴 (稚 内)

地区マナー・コンプライアンス委員会

1R L.綿貫 裕介 (網 走)
 2R L.眞谷 義重 (旭 川)
 3R L.藤部 正博 (帯 広)
 4R L.山本 秀一 (稚 内)
 5R L.松平 範慶 (津 別)

事務局

事務局長 遠藤 めぐみ
 事務局員 工藤 かずみ





北見キャビネット事務局

〒090-0024 北見市北4条東4丁目3 伊東ビル3F

TEL 0157-33-4445 FAX 0157-33-4446

E-mail : kitami-cab@hyper.ocn.ne.jp